高等学校における
キャリア教育の充実

平成26年2月24日（月）

長崎玉成高等学校　上戸綾子

長崎玉成高等学校における
キャリア教育の充実

長崎玉成が目指すもの

社会の要請に
応える教育

実業系私立高校

全日制高校　　在籍　499名

普通科　総合･共育
生活技術科
福祉科
衛生看護科(5年一貫)

特別支援教育の視点

長崎県研究指定

　平成18･19･20･23年度

文部科学省指定

　平成21･22･24･25年度

実践研究は蓄積され財産と

なりました。

教師の意識改革

視察研修

先進校：東京・大阪・福島

大阪・京都・千葉・愛知

福岡・佐賀・神奈川等

１日研修

特別支援学校・小学校

公開セミナー

「講演会」
上野一彦・神山　忠・冠地情
安部利彦・梅永雄二　氏　他

「学校公開セミナー」
全クラス授業公開

研　　修

発達障害者教育指導者講習会
日本LD学会年次大会
JDDネット年次大会
発達障害者就業支援セミナー
日本職業リハビリ学会
国立特別支援教育総合研究所

特別支援教育教員免許

職員数　　32名中

　現在免許所持　3名

認定講習受講

　今後　さらに　11名

理解を深めて

転勤がない私学において
研修の蓄積は**知的財産**

↓

生　徒　理　解
授業のユニバーサル
デザイン化

共育コース　現況

	1年	2年	3年	計
女　子	11　名	11　名	10　名	32　名
男　子	12　名	9　名	12　名	33　名
計	23　名	20　名	22　名	62　名

現　　状

心因性不登校　　51　名
発達障害診断有り　41　名
発達障害傾向有り　12　名

全体の　21　％
（全校生徒449名）

共育コースについて

特徴　　定数20名　担任2人

＊法的にいう「特別支援学級」ではない。

週6時間＝学校設定科目

残りの24時間は普通の学科

学校設定科目

①ベーシック国・数・英
②SST（1・2年）
③LST（3年）
④職業訓練
　各3名の指導者を配置
⑤ハウスワーク　教師1名

共　育　コ　ー　ス

生活･社会性の指導

自己理解

SST　LST

キャリア教育

職業訓練

「ベーシック」学び直しの授業

ベーシック

基礎学力の定着、ステップアップ学習

職　業　訓　練

①パソコン検定

　　電卓検定

②インターンシップ

1年3日　2年2週間

職　業　訓　練

インターンシップだけ
では　不十分

恒常的職業訓練を！

校内模擬会社設立

2012年度

玉成ＯＡワーク社

2013年度

玉成ベーカリー社

職　業　訓　練

「玉成ベーカリー社」

2･3年　週2時間

自主運営　：就業規則

企画･仕入･製造･販売

FLAME
スキムミルク

玉成ベーカリー社

今年1月の製造・販売の
様子を動画で紹介
（6種類　　120～140個
　定価100円にて好評販売中）

校　内　支　援　体　制

最大のポイントは

→　学校長の強い

リーダーシップ　！

「点でもなく　　線でもなく

面となって支える教師集団に」

外　部　協　力　者

長崎大学大学院
長崎公共職業安定所
長崎県立特別支援学校
長崎発達障害者センター
長崎県発達障害者
支援センター

多面的に生徒理解

生徒指導特別支援員　3名

数学・英語・情報

生活全般

スクールカウンセラー　3名

月・木・金

13～17時

入学式前までに・・・・

中学校訪問

＋親子面談

↓

個人ファイル作成

個別の教育支援計画

１学期の様子から
アセスメント
↓
共育＝全員分作成
他クラス＝必ず１名は

文部科学省委託事業

特別支援教育に関する
研究実践事業
「高等学校における発達障害がある生徒へのキャリア教育の充実」

テーマ

障害特性に応じた
キャリア教育

～職業準備性の向上に向けて～

文部科学省委託事業

インクルーシブ教育
システム構築
モデルスクール

教育法の実践研究

自　己　理　解

面談

職業評価

　GATB(適性検査)

VRT(職業レディネステスト)

各種模擬試験

「受容」と「課題」

保護者の声・・・・・

生徒の声・・・・・

人　権　教　育

全校生徒へ
「世の中にはいろんな人がいていいんだよ。あなたのいい所を生かして生きていこう！」

親同士語ろう会

A「療育手帳を
利用した就職」保護者
本人

B「専門学校進学」 保護者

長崎県障害者合同企業面談会

今年度　9月県南地区

求人企業数　30社

求人数　106名

参加者数　350名

共育コース　第1回卒業生

Ａ さん

2012年3月卒業

１年間の就職活動後

2013年4月より

長崎新聞社勤務

４月から3年生のBさん

インターンシップ後・・・
「普通に働くということは
私には無理かもしれない。
でも、・・・・・・・・・・・。」

成長→卒業→社会へ

「職業」を意識するようになった生徒たち。
　さらに社会体験を増やし自ら職業を選択する生徒たちを育てたい。

最　後　に

「面で支える教師集団」

↓

より深く生徒を理解

↓

どの子にも　涼しく風の
吹く日かな(飯田龍太)